令和８年１１月２７日

２０２６年度第３回 ST（Science & Technology）クラブ

社会価値創造機構

日時　令和８年１１月２７日（金）１８：００～１９：５５
場所　姫路じばさんびる５０１会議室＆Web

次　第

１．開会の挨拶（18:00～18:05）　理事・副学長兼社会価値創造機構長 **畑　豊 先生**

２．研究内容の発表（発表時間 各テーマ　発表 20 分、質疑応答 10 分、計 30 分）

（１）発表テーマ１（18:05～18:35）

「AI センターによる中小企業への AI 導入支援の取組」

発表者：工学研究科　**森本 雅和 先生**

概　要：兵庫県立大学人工知能研究教育センター（AI センター）では、中小企業での AI 導入に関するさまざまな支援活動を行っています。強力な生成 AI 活用ツールである Gemini Notebook の利用方法の紹介や、AI エージェント利用のためのハンズオン出前セミナー、生成 AI の暴走の危険性紹介と、安全な利用のためのルール作り支援など、支援内容の一例を紹介するとともに、今年度支援を実施した中小企業での AI 活用事例の紹介を行います。

（２）発表テーマ２（18:35～19:05）

「上手に楽をさせる技術：システムを操る AI の観測と判断の変換」

発表者：工学研究科　**田中 健太　先生**

概　要：ドローン、ロボット、工場といったシステムは、AI で制御することが増えてきました。システムの動き方が複雑になると、AI に必要な計算機性能やデータ収集、学習のコストが増します。我々はこのコスト増を軽減するために、AI が観測する情報や AI が下した判断を変換する技術を研究してきました。本発表では、AI の操作を 3 倍以上上達させた研究と、ON/OFF でしか操作できないようなシステムを滑らかに動かすための技術を紹介します。さらに、本技術が応用できそうなシステムをお伝えします。

（３）発表テーマ３（19:05～19:35）

「自由に声を変えられる音声生成 AI 技術」

発表者：工学研究科　**大谷 大和　先生**

概　要：音声生成 AI とはある入力（テキスト、参照音声、指示文など）からその入力に関連する音声を出力する技術である。近年の技術発展により音声生成 AI は人と遜色ない高品質な音声が生成できるようになった。しかし一方で従来の信号処理技術で可能であった声の要素を自由に制御することが困難となっている。

本発表ではこの問題点を解決するため、現在の音声生成 AI 技術と従来の信号処理技術を融合することで、音声生成 AI の品質と信号処理技術の制御性を兼ね備えた音声生成技術を紹介する。

３．交流会（19:35～19:55）

以上